

研究課題名	穿刺により生じる慢性疼痛の病態・治療についての後方視的観察研究
研究期間	2025年11月17日～2030年3月31日
研究の対象	2015年4月～2028年3月の間に広島大学病院麻酔科で穿刺を契機に発症した慢性疼痛に対する治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：穿刺による慢性疼痛の実態を明らかにすることです 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、穿刺による慢性疼痛に対して有効な治療法や慢性疼痛を起こしやすい原因について分析します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：初診日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、服薬、診断名、ICD-11 慢性疼痛分類、治療内容（使用薬剤：使用量・剤型、併用治療、副作用、合併症、転帰） 試料・情報の管理責任者：広島大学病院麻酔科准教授 佐伯昇
利用または提供を開始する予定日	2025年11月17日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院麻酔科 准教授 佐伯昇
その他	特記事項なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 麻酔科 担当者：大月幸子 〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3 電話番号：082-257-5267